

# 生命科学セミナー

## TCP転写因子による細胞分化の制御

---

小山 知嗣 博士

京都大学大学院 生命科学研究科 助教(特命)

---

2009年4月6日(月) 16:00~17:30

京都大学 農学・生命科学研究棟

1階 セミナー室(2)

植物細胞は柔軟な分化能を持つが、通常の発生では位置と時間に依存した情報に従って精密に分化制御される。この制御の鍵となるのが転写因子であり、転写抑制ドメインを利用した遺伝子サイレンシングシステム(CRES-T法)は転写因子の機能解析に適している。本発表では、CRES-T法の開発とその発展研究であるTCP転写因子による細胞分化の制御を解析した結果を紹介する。特にTCPの機能障害が与える形態異常、ならびにTCPの下流遺伝子について、シュート部の形態形成に重要なNACドメイン転写因子CUCとの関連について述べる。

参考文献 Koyama et al. (2007) Plant Cell 19 473-484

連絡先 全能性統御機構学分野  
佐藤 文彦 6381